

WELCOME PARTY FOR BOSTON HIGASHI

ガーランド理事長ご夫妻はじめ、ボストン東スクールの教職員、保護者の皆様が武蔵野東学園の各園校を訪問され、2月12日、「北原記念館ゆうアンドあい」にてウェルカムパーティーを開催致しました。当学園の児童・生徒さんたちの学ぶ姿を見学された感想を、感激をもって語っておられ、翌日の小学校・中学校の発表会をとても楽しみにしておられました。

「子供たちを思う心に、洋の東西なし」と改めて思いました。当日の準備にあたってくださった高等専修学校の生徒さんの中には、ボストン東スクールへの短期研修を経験された方もおられ、旧交を温められました。

武蔵野東学園からは学園創立55周年記念グッズを贈呈させていただき、「GO!GO!ヒガシ」の掛け声のもと、両学園の友情が永遠に続くことを誓い、閉会となりました。

素晴らしいお料理でおもてなしいただいた高等専修学校の加藤先生、生徒さん、ゆうアンドあいの皆様、学園の皆様、厚く御礼申し上げます。
(小6 保護者S)

成人を祝う会

1月11日(土)、「第30期生 成人を祝う会」が開催されました。当日は、高等専修学校講堂に、卒業生54名、保護者59名、そしてお世話になった先生方が集いました。祝辞、乾杯、近況報告、記念写真撮影と和やかな雰囲気では進行していきました。

近況報告タイムでは、仕事、学業をがんばっている報告、趣味、余暇を楽しんでいる話、成人を迎え、保護者、先生方に感謝を伝える卒業生もいました。また、卒業生の話優しいまなざしで見守る先生方の姿が、とても印象的でした。2年ぶりの再会となりますが、バディと一緒に写真を撮ったり、声を掛け合ったりと微笑ましい様子も随所がありました。卒業してからも温かく迎えてくださる母校、先生方、時がたってもお互いに一緒に笑いあえる仲間がいるということは、とても素晴らしいことだと感じました。これからもこの絆を大切に、それぞれの人生が幸せなものとなりますように願っております。
(高専30期卒 保護者I)



武蔵野東学園後援会OB会へのご案内

後援会OB会は、平成2年に発足し、学園への後援活動を行なってきております。毎年11月の小学校学園祭では、模擬店で焼きそばの販売を行い、収益より奨学金基金への寄付を行っています。

また、次の後援会活動を通して、会員相互の親睦も兼ねて学園への後援が行われています。

- ◆小学校の花壇整美(5月)
- ◆春の日帰り旅行(6月)
- ◆秋の一泊親睦旅行(10月)
- ◆小学校学園祭の模擬店(11月)
- ◆新年会(2月)

春の日帰り旅行では、高尾山のヒアマウントへ行ったり、学園祭で新しくお汁粉の販売を行ったり、楽しく活動しています。詳しくは、学園ホームページ(連合後援会サイト)でもご覧下さい。

後援会OB会はお子様が卒業したあとも学園を応援する組織です。お子様が東学園を卒業される保護者の皆様、どうぞご入会をお待ちしております。
(後援会OB会Y)

編集後記

学園創立55年を迎えた一年が終わろうとしています。今回の連合後援会だよりいかがでしたでしょうか？一年間ご愛読いただきましてありがとうございました。学園の様々な行事を少しでも伝わったならば幸いです。

来年度も情報たっぷりの誌面作りに編集員一同取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
(編集委員N)

●編集委員会(編集スタッフ)

高等専修	山下詩織	森 宗子
中学校	杉岡美恵子	石寺弘美
小学校	松本裕子	小倉智子
幼稚園	松本佳奈	宇野瑠衣
高等専修	松井幹和	横田秀一
中学校	遠藤崇浩	松田英二
	辻 孝平	津久井竜一
小学校	白田 剛	大黒貴之 内藤忠男



発行: 武蔵野東学園連合後援会だより編集委員会 第84号 令和2年2月28日発行

武蔵野東学園 連合後援会だより



今年もいよいよ卒業シーズンがやってまいりました。連合後援会の皆様におかれましては、子供たちの一年を振り返り、様々な思いが、こみ上げてくるのではないのでしょうか。

思い返せば、今年度もこれまでにない大型の台風や新型コロナウイルスが我々の生活を脅かしましたが、子供たちは東学園のシンボルマークのように、力強く日々を生きています。我々保護者も、子供たちの未来のため、手を取り合い、学園を盛り上げていきましょう。

(編集委員O)

卒園、卒業に向けて

今日も通園バスへ笑顔で乗り込む息子の後ろ姿に、リュックが大きく見えた3年前の春を懐かしく思い出します。

入園当初は早生まれで言葉もたどたどしい我が子のスタートに不安もありましたが、子どもの気持ちを尊重し導いて下さる先生方と個性を大事にして下さる幼稚園のお陰で、緩やかな成長を安心して見守ることができました。そうして迎えた年長では、運動会のリレーをはじめ園まつりの制作や幼稚園最後の発表会など、四季折々のイベントに楽しく根気強く挑戦するまでに逞しく成長しました。東幼稚園で育んだチャレンジ精神を、これからも大事にしていってほしいと願っています。

私自身も先生方や保護者の皆様に支えて頂き、微力ながら後援会活動に携わらせて頂けたことに心から感謝申し上げます。東学園の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

(年長 保護者I)



東学園からの卒業が目前となり、さびしくもありますが、「これから」を楽しみにする気持ちも少しあります。それは、在学中に培われたものの効き目が、我が家では卒業後に現れてくることがあるからです。数年前に卒業した息子は、とある苦難を越える際、学園での経験に力をもらい、将来の目標を定めるに至りました。

私自身も、混合教育に触れて気づいたことがあり、仕事を改めました。そして娘は、おかげさまで心身共にすくすくと育ち、自分に欠かせないものを見つけていよいよ卒業となります。彼女の「これから」にはどんな効き目が現れるのでしょうか。

先生方をはじめ、保護者の皆様には温かいご厚意をいただき、深く感謝申し上げます。東学園の益々のご発展を祈念し、皆様方の実りある「これから」を心よりお祈り申し上げます。
(中3年 保護者K)

今年一月の教育懇談会で「卒業生が学校を訪ねてきてくれるのがとても嬉しい」とのお話がありました。時折見かけるその光景はなんとも温かい光を放つ集まりに感じたものです。

先日我が家の次男は、先生方のご指導のお陰により中学校への進学が決まりました。大きなランドセルと大きな制服を身に着け、6年前の桜咲く日に小学校へ入学した子は身長を30cm高くして次のステップに進みます。

在学中は私の癌闘病に付き合い色々和我慢する場面がありました。そんな時は持ち前の明るさと学校での楽しい時間が、彼の気持ちを前向きにしてくれました。

その温かい心地よい場所から間もなく巣立ちます。心細い思いもあるかもしれませんが、今度は卒業生として少し目線を高くして小学校に会いに行くことでしょう。

六年間のご指導と励まし、本当にありがとうございました。
(小6 保護者F)

息子は東学園に小4で転入させて頂き、9年の歳月を経て卒業の時を迎えています。当初は元の学校に戻りたいと泣いて訴えていました。そんな時でも先生方は自宅まで来ていただき、ベランダに隠れる息子をうまく説得、何とか学校に行くという日もありました。それ以来、自分から進んで登校するようになり、今では学校が大好きになりました。この東での学校生活の中で様々な課題に取り組み、少しずつではありますが成長したと感じます。

特に、高専では社会人となる心構えを先生方に教えていただきました。この4月より晴れて社会人となります。学校から離れる寂しさや不安もあると思いますが、東学園で学んだことを忘れず、親子共々新たな一步を踏み出していきたいと思ひます。

最後になりましたが、先生方や保護者の皆様のご協力のもと楽しく後援会活動をすることができました。本当にありがとうございました。東学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。
(高3 保護者Y)



二年前の発表会で年長さんの舞踊劇を観て、堂々と上手に踊れるのか想像も出来ませんでした。発表会の前日、「明日は楽しんで、頑張っ
てね。」と声を掛けました。娘は「大丈夫！緊張するけど頑張る。」と言
いました。人前では話すことが苦手で、すぐに泣き出してしまう恥ずか
しがり屋な性格ですが、一生懸命練習をして自信を持って本番を迎える
ことができました。

いよいよ年長さんの舞踊劇の幕が上がり、普段とは別人の自信に満ち
た娘の笑顔がそこにありました。ピンと張った背筋、お化粧品をしてちょ
っと大人びた表情で、凛々しく踊っている姿を見て、胸がいっぱいになり
幼稚園で学んだ三年間の成長をこの舞台で感じる事ができました。小
学校に行ってもダンスを続けていきたいと思います。素晴らしい発表会
を行うことが出来たのは、先生方の全力のご指導のお陰だと思ってお
ります。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

(年長 保護者T)

発表会



照明が暗くなり、舞台の幕が上がる瞬間の何とも言えない心のザワザワ感…。小学校へ入学し、五度目の発表会となりました。

体育の部では、器械運動で跳び箱に挑戦していました。自分達で音楽に合わせてカウントをとり、高学年チームが一つにまとまって演技をする、まさに子供達主体の発表会を感じることができました。

音楽の部では、歌とリコーダー「夜明け」の演奏でした。保護者研修会で西山先生が、音楽は心に働きかけるものであり、皆が一つになって声を合わせて歌うことが大切とのことでした。語りかけるような歌、やさしい音色のリコーダー、音楽を体全体で楽しんでいるようでした。

コツコツと根強く何かに取り組むプロセスを大切にし、その積み重ねが成長へとつながるのだと学校生活を通じ感じてます。

来年は、小学校生活の総まとめとなります。一緒に過ごしてきた大切な仲間と、最高の思い出がつくれたらと願っています。

(小5 保護者O)

中学から入学したため、初めて鑑賞させていただきました。

女子の可憐でしなやかな創作ダンスに魅せられ、男子の武道を取り入れた躍動感あふれるダイナミックな演舞に圧倒され、学年を超えた演奏、透明感のある歌声に感激しました。また、小学校低学年の可愛さに微笑み、高学年には頼もしさを感じました。

息子は、「全体練習が少なくて、大変なんだよね。」と言っていました。一体感があり、まさに「ONE TEAM」で作上げた素晴らしい舞台だったと思います。

学年の枠を超えて1つの作品を作り上げるのは、大変だと思います。限られた時間で、一人ひとりがパートを身につけ、周りと合わせることが一段と求められます。子どもたちは、発表会を通じて、北原キヨ先生が掲げた「机上のみならず、本物を体験する学びの大切さ。自分と向き合い精一杯やり遂げる重要さ」を体感し、また一歩成長しました。この達成感を持って、次のステージへ飛躍することを期待しています。

(中1 保護者H)



東初協音楽祭



長女が初めて東初協音楽祭に参加させていただいたのは、4年前。他校の素晴らしい演奏が続く中、東小CDE高学年の歌声が響き出すと、会場の空気が変わりました。彼らの真っ直ぐな歌声に、命に素手で触れたような思いがしたのを覚えています。

その時は客席に座っていた次女が、今年度は吹奏楽部として初参加しました。ピアノすら習ったことのない次女が吹奏楽に興味を持ったのも、長女が合唱や演奏を楽しむ姿を観てきて、憧れたからとのこと。他校との合同演奏で緊張しながらも、当人も楽しんでいる様子が伝わってきました。

その妹の演奏を今度は客席から観ていた長女。中学生となり、あの頃よりもずっと深みのある声となった彼女は、さて、何を思っ
て観ていたのでしょうか。

(小3、中2 保護者M)



クリスマス会



昨年の12月7日にむらさきOB会クリスマス会が開催されました。卒業して一年目の保護者は、お手伝いを通して会の様子を見ることができるとい
うことで、私も楽しみに参加させていただきました。

そこで、卒業したばかりのOBから卒業して何年も経っている大先輩のOBまでたくさんの卒業生が楽しみに来てくれている様子、先生方が卒業生一人一人に優しく声をかけて出迎えて下さっている様子、まるで学生時代に戻ったかのように友人や先生方とイベントを楽しみ、笑顔あふれる幸せな時を過ごしている様子を実際に目にすることができ、とても素晴らしい集いだなと感激いたしました。また同時にこのような場が卒業してからもある有難みを感じました。

これまでOB会の活動にご協力して頂いた、学園、先生方、役員の皆様に心から感謝申し上げます。そしてこの心温まる会が子供たちのためにこれからも続いていくことを願っています。

(OB 保護者K)



新年会



1月18日(土)、中学校の「北原記念体育館」でむらさき新年会が行われました。今年度は、学園創立55周年ということで、お弁当には「祝五十五周年」の文字が印刷されたカラフルな掛け紙が掛けられ、華やかなテーブルに彩られていました。当日は、雪が舞う寒い一日でしたが、場内は熱気と笑顔で溢れていました。ご夫婦での参加も多く、各テーブルでは、先生を囲んで子供の話、家族の話、東学園入学までの苦労話など…大変盛り上がりま
した。お世話になった先生方とたくさんお話がしたかったのですが、時間はあっという間に過ぎていきました。このような会が毎年行われることを大変ありがたく思います。

当日は、準備から後片付けまで手際よく作業して下さった先生方、事前の集計作業をして下さった行事部役員さん、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

また来年も、このような会が催されることを楽しみにしたいと思います。

(高2 保護者S)

1月18日(土)、中学校北原記念体育館で行われました、むらさき新年会に参加させていただきました。今回は55周年に伴い、のし付きお弁当は「55周年」と書かれており、素敵なお弁当でうれしく感じました。幼稚園、小学校、中学校、高専、OBの保護者の方々が、それぞれの先生方を囲んで、ゆっくりとお話しをすることができ、また保護者たちとの距離を縮め、OBの私は在学中の懐かしい話しや卒業後の近況のことをたくさん話すことができ、あっという間の貴重な時間が送れました。変わらない先生方とお会いでき、またゆっくりお話しができてうれしく改めて元気をいただきました。ありがとうございました。

また、今回準備から片付け等、先生方や役員の皆様、お忙しい中、大変お世話になり、感謝申し上げます。また来年も変わらぬ先生方とお会いできるのを心より楽しみにしております。

これからもどうぞよろしくお願い致します。

(OB 保護者N)